

緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰を受けた 「北見市相内町町内会連合会」

去る4月23日、「みどりの日」についての国民の関心と理解を一層促進し、「みどり」についての国民の造詣を深めるため、「第4回みどりの式典」が東京都千代田区にある憲政記念会館で、天皇皇后両陛下のご臨席のもとで開催されました。

本式典では、「緑化推進運動の実施方針」（昭和58年3月1日閣議決定）に基づき、緑化活動の推進について顕著な功績のあった個人または団体に対し、「緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰」が行われ、3人の個人と10の団体が表彰を受けました。

このうち、「北見市相内町町内会連合会」は、長年にわたり国道の植樹帯への植栽、道路の美化運動に貢献してきたことが評価されたものです。

同連合会は、式典には出席できなかったため、5月18日、同連合会を推薦した網走開発建設部で表彰伝達式が執り行われました。

伝達式では、同連合会会長の吉倉輝久氏に、小笠原網走開発建設部長から賞状の授与と記念品の贈呈が行われ、長年の労苦と功績に感謝の意が伝えられ、同会長からは「会員の高齢化が進んでいて難しいと感じるときもあるが、健康に留意し、今後も活動を続けていきたい」と謝辞が述べられました。



北見市相内町町内会連合会の活動

「北見市相内町町内会連合会」は、昭和44（1969）年に北見市相内地区の9つの町内会が連携し結成、北見市が始めた「ほうき1本運動」と全国的に広がりを見せていた「花いっぱい運動」と併せて、昭和47年から一般国道39号沿道の植樹帯の清掃、植栽、歩道の清掃など、道路の美化運動を定期的に行っています。

特に、植樹帯の整備については、長年の功績が讃えられ、平成12（2000）年に「道路をまもる月間」の建設大臣表彰を受賞しています。

平成20（2008）年度からは、ボランティア・サポート・プログラム団体として引き続き様々な道路の美化活動を行っています。

このうち、4月に行われる「冬あか一掃運動」は、緑と花があふれる住みよいまちづくりを目差し、国道を歩き交う人々の心を和まし、気持ちを豊かにとの願いを込め、冬の間路肩にたまった砂利などを取り除く北見市内の町内会が一斉に取り組む市民運動です。

その後、緑の季節の到来とともに、色とりどりの花の植栽や雑草などの草取り作業、日照りが続くときに

は水撒きを行うほか、歩道のゴミ清掃を会員の100～150人により実施しています。

その他、北見市「緑と花の市民の会」に加盟するなど、道路のみならず都市環境の緑化推進に広く活動を行っており、ゴミや吸殻のポイ捨ての抑止力となっています。

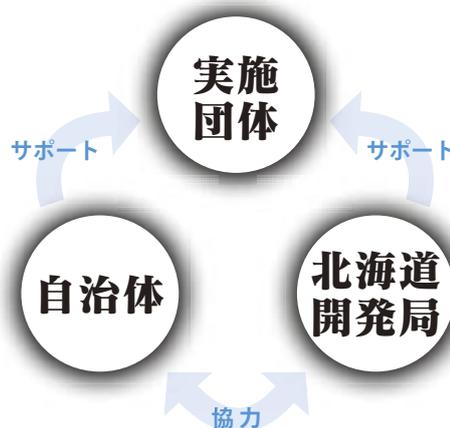


ボランティア・サポート・プログラムとは

ボランティア・サポート・プログラムとは、北海道開発局など、国が管理している道路（直轄国道）を対象として行われる、歩道等の美化・清掃プログラムで、道路を慈しみ、住んでいるところをきれいにしたいという自然な心を形あるものにしてほしいと考え出されたものです。

地域の歩道に設置された植樹帯等の美化や歩道の清掃に、住民グループや商店街等が「実施団体」となり活動します。

この活動では、地域の共有財産である道路への愛着心を深めていただくため、その心あたたまるボランティア活動をしている実施団体に対し、市町村と北海道開発局が協力して、作業用具の貸し出し、実施団体名入りのサインボードの設置、ゴミの処理等を支援しています。また、実施団体から意見やアイデアを積極的に取り上げ、地域の気候や土地柄に合った独自のプログラムを作り上げることにしています。



このように、地域の住民のみなさんが、道路の清掃や美化活動に参加していただくことで、次のようなことが期待されます。

- ・ 地域の人たちの美化活動意識の向上
- ・ 道路利用者のマナー向上
- ・ 参加団体のコミュニケーションの広がり

北海道開発局では、平成21（2009）年3月現在で289団体と1企業がボランティア・サポート・プログラムを利用していただき、道路清掃や植栽、除雪などを行っています。

ボランティア・サポート・プログラムの流れ



詳しくは…

ボランティア・サポート・プログラム
(北海道開発局分)

http://www.hkd.mlit.go.jp/zigyoka/z_doro/vsp/top.htm

(全国版)

<http://www.mlit.go.jp/road/road/vsp/index.html>